

編集 後記

毎年の第12号には年間の総目録が添付されます。これを見ると本誌の扱う課題の幅広さを改めて認識いたします。本号に掲載されたのは原著が2編でしたが、わが国の成人男女における身体活動量とメタボリックシンドローム並びに発展途上国における未成年者の飲酒喫煙問題を扱っていました。研究テーマが生活習慣病に関連していた以外は、研究が行われた地域や対象者の年齢も大きく異なっていました。

また、時の経つのは早いもので、現在の編集委員・査読委員の体制が発足してから3年が経過しました。この間、投稿規定の改定、科学技術情報発信・流通総合システム（J-STAGE）への論文など記事情報の登載、論文の電子投稿及び査読システムの導入、論文投稿料の無料化、など多くの改革を行ってきました。投稿規定については、公衆衛生活動報告の構成（例）を新たに示しました。これは公衆衛生活動報告が自治体、保健所など公衆衛生活動の現場から得られた経験や考え方を広く共有することが主な目的であることをより明確にするという意図でした。J-STAGEについては本誌に掲載された知見が社会により浸透すること、電子投稿及び査読システムについては論文投稿から掲載までの期間を短縮すること等、いずれも会員の皆様が得た知見を広く共有することを目的としています。今後の公衆衛生の発展のためにも会員の皆様からのより多くの投稿をお待ちしております。（谷原真一）

次号予告（第62巻・第1号）

総説

介護予防の二次予防事業対象者への介入プログラムに関する文献レビュー……………鶴川重和，他

研究ノート

保健福祉専門職による支援を拒否する住民の特徴とその関連要因の解明……………吉岡京子，他
健康保険組合レセプトデータ分析によるがん患者の受療医療施設の分布……………田中宏和，他